

令和5年度 厚真町立厚南中学校 学校経営方針 グランドデザイン

目指す生徒の姿

- 1 将来への目的意識を持ち、主体的に学習に取り組む生徒
- 2 基本的な生活習慣を身に付け、規範意識の高い生徒
- 3 地域社会の一員としてのマナーとモラルのある生徒
- 4 自他の生命及び人権を尊重する生徒
- 5 郷土を思い、郷土の未来を語ることができる生徒

学校教育目標

- I 知性豊かで実践力のある人
- II ふれあいを大切にする人
- III たくましい体力・気力のある人

生徒の手による新たな伝統の創造

重点的に身に付けさせたい資質・能力

- あいさつ、返事、整理・整頓【不易】
- 主体性、協働性、実践力【流行】

目指す教職員の姿

- 1 資質・能力に優れた教職員
- 2 連携・協働する教職員
- 3 行動規範が徹底された教職員
- 4 授業づくりへ研鑽する教職員
(組織的・継続的な授業改善)
- 5 PDCAを踏まえた学校経営へ参画する教職員
- 6 健康管理を意識した業務能力を向上する教職員

主体的に創造し、協働する教育活動

教育課程

- 社会に開かれた教育課程の具現化

組織運営

- 教職員個々の学校経営参画とチーム学校の推進
- 教職員の協働実践の推進

学級経営

- 安心・安全な環境づくりと自己肯定感・自己決定力の育成

研修活動

- 確かな学力の定着を目指した分かる授業に向けた授業改善

環境整備

- 機能的な学習環境と落ち着いた環境整備に努める

家庭・地域との連携

- コミュニティ・スクールを活用した地域に開かれた学校づくりの更なる推進

異校種連携

- 小学校と連携、協働する体制を構築し、9年間を見通した系統と接続に努める

～知性豊かで実践力のある人～

学習指導

- エビデンスを活用したカリキュラム・マネジメントの推進
- 協働的な学び合いの推進
- 家庭と連携した学習環境づくり(1人1台端末活用)

総合的な学習の時間

- 地域の教育資源を活用した実体験の活動
- 根拠を明確にし、自分の考えを述べる言語能力の育成
- ICTを活用した情報活用能力の育成
- 小中9年間を見通したふるさと教育の推進

特別支援教育

- 通常学級に在籍する特別な配慮を要する生徒に対する共通理解と支援の充実
- コーディネーター中心の関係機関との連携
- 切れ目のない組織的・計画的な支援

～ふれあいを大切にする人～

道徳教育

- 特別の教科「道徳」と連携を図り、自ら創造する活動に努める
- 異年齢集団による交流を通じたリーダーシップとフォローシップの育成
- 校内研修と連動した「考え議論する道徳」の実践

生徒指導(教職員の姿)

- 情報共有、意思決定、対応の記録化の励行
- 不易と感謝の言葉が言える環境づくり
- いじめ、差別や偏見、誹謗中傷を許さない教師集団

～たくましい体力・気力のある人～

健康安全指導

- 震災後の変容を把握し、関係機関と連携した心のケアの充実
- 地域人材を活用した生涯スポーツの資質や態度を育成
- 電子メディア使用を含めた生活習慣の確立に向けた指導の充実

部活動

- 自ら課題を発見し、主体的・創造的に取り組み、健康で健やかな心と体を育む指導の充実
- 地域団体と連携した指導の充実
- 生徒にとって望ましい部活動環境の構築のため、学校と地域が協働・融合した部活動の在り方の整備

今年度の重点取組事項

重点1 学力・体力の向上

- ICTを有効活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実
- 各種調査を活用した課題の把握と改善
- 運動機会の提供による運動週間の定着

重点2 豊かな心の育成

- 「いじめ防止に向け」生徒が主体性を持ち取組体制作り
- 校内研修と連動した「考え議論する道徳」の実践
- 「不易」と感謝の気持ちの醸成

重点3 生活習慣の確立

- 電子メディア使用を含めた生活習慣の確立に向けた指導の充実
- 各種調査の実施による生活習慣の見える化とその改善策の検討

重点4 地域との連携・協働

- コミュニティ・スクールを活用した地域に開かれた学校づくりの更なる推進
- 地域人材や文化財を活用した学習の推進
- ふるさと教育・防災教育の精査・充実

重点5 教員の人材育成 職能の向上と技能の継承

- 教職員個々のPDCAサイクルの実践力の向上(課題推進シート・運営委員会)
- 服務規律の徹底を含めた教員に必要な人権意識・倫理観等の資質の醸成

重点6 働き方改革の推進

- ICTを活用した校務の効率化の整備と徹底
- 「地域移行」へ向けた部活動のあり方について連携・協議

地域とともにある学校 厚南地区コミュニティ・スクール

小中一貫教育 上厚真小学校